

国際シンポジウムの開催

第8回国際家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) シンポジウム

実行委員長 安東 由喜雄

平成23年11月20日から22日にかけて、熊本市医師会館で第8回国際家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) シンポジウム及び家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) の肝移植ワークショップが開催されました。18か国から合わせて300人の参加者があり、key note lecture 7題、シンポジウム 5種、30題、口演33題、ポスター発表91題の発表が行われ、活発な討論が行われました。これまでの同会では最高の参加人数となりました。また、海外からの参加者に熊本、そして日本を知ってもらいたいとの思いから、最終日の午後は、excursionを企画し、Samurai Tourと銘打ち、熊本ゆかりの武将、宮本武蔵や加藤清正の足跡をたどるため、宮本武蔵が五輪の書を書いた霊巖洞、五百羅漢、リニューアルされた熊本城などを訪れてもらいました。天候にも恵まれ、成功裏に会を閉じることができました。

FAPは、成人期以降、全身の諸臓器（末梢神経、自律神経系、心臓、腎臓、消化管、眼など）にアミロイド沈着が起これば予後不良の経過を辿る常染色体優性遺伝の形式をとる疾患ですが、アミロイドの前駆たんぱく質は遺伝的に変異したトランスサイレチンです。本タンパク質は大変よく研究され、これまでに120以上の点変異、欠失が報告され、その多くの変異体がFAPを引き起こすことが明らかになってきました。こうした理由からFAP患者は世界各国で発見されており、広く研究、診療が行われています。本タンパク質は、様々な機能も明らかにされ、タンパク質の特性自体も注目されています。トランスサイレチンは、そもそも変異を起こすとアミロイド化しやすくなりますが、wild typeも β -シート構造に富むことから、アミロイドを作りやすく、老年期になると10-20%くらいの頻度で心臓を主体とした臓器にアミロイド沈着をきたし、老人性アミロイドーシスを引き起こすことも解ってきました。FAPに関しては、異型トランスサイレチンのほとんどが肝臓から作られるため、肝移植が行われるようになっております。

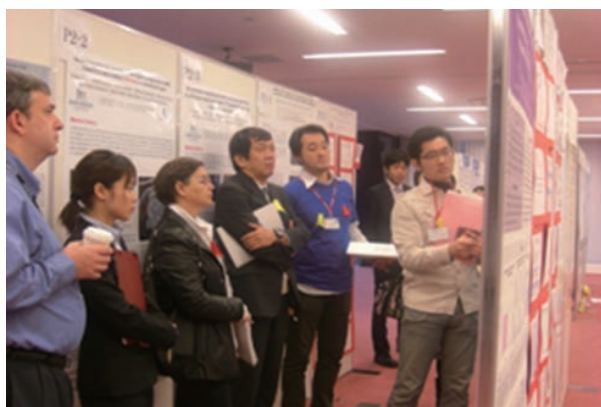
FAPは、現熊本大学名誉教授で、第一内科の教授であった荒木淑郎先生が1968年、わが国の患者フォーカスが熊本にあることをArh Neurolに初めて報告されて以来、我が国でも研究が盛んになりました。患者の発見に始まり、遺伝子、血清診断、病態解析、肝移植、肝移植によらない根治療法の開発と、われわれ熊本大学の研究グループは絶えず世界に情報発信を行って参りました。シンポジウムでは、amyloidogenicityに始まり、アミロイド沈着臓器による異同、臨床像の地域差、最新の根治療法に関する研究、そして肝移植、ドミノ肝移植に関する諸問題などを扱い、それぞれ最新の知見が討論されました。

FAPについては、原因タンパク質こそ明らかとなりましたが、アミロイド沈着機構や、病態に関してはまだまだ不明な点も多く、今のところ治療法も肝移植以外に患者を救う方法がありません。本外科治療も、ドナーが不足している、終生免疫抑制剤を投与しなければならない、移植をしても症状が進行する患者が見られるなどいくつかの問題点があるため、これに代わる治療法の確立が急がれております。

本シンポジウムは、アミロイド沈着機構、FAPの病態、治療研究などの多くの点で新たな知見を生み、FAPの肝移植によらない治療法の確立もそう遠くないことを予見させる歴史的なシンポジウムとなりました。

本シンポジウムの成果を糧に、神経難病の最たる疾患であるFAPの治療に向け、さらに邁進して行きたいと願っております。

(熊本大学大学院生命科学部病態情報解析学分野 教授)



第8回 国際家族性アミロイドポリニューロパチー (FAP) シンポジウム

主催:公益財団法人 難病医学研究財団

名譽会長	荒木 淑郎 (熊本大学名誉教授)
会長	安東由喜雄 (熊本大学大学院生命科学部病態情報解析学分野 教授)
会期	平成23年 11月20日(日)~22日(火)
開催地	熊本市医師会館 (熊本大学医学部附属病院)
開催要項	平成23年 6月20日(月)~

[同時開催]

第7回国際 FAP 肝移植シンポジウム

会長	猪股裕紀洋 (熊本大学大学院生命科学部病態情報解析学分野 教授)	会期	11月22日(火) 午前9時~
----	----------------------------------	----	-----------------

**第27回熊本医学・生物科学国際シンポジウム
「第2回国際トランスサイレチンシンポジウム」**

会長	安東由喜雄 (熊本大学大学院生命科学部病態情報解析学分野 教授)	会期	11月23日(水)
----	----------------------------------	----	-----------

シンポジウム事務局	熊本大学大学院生命科学部 病態情報解析学分野 〒890-8556 熊本市本荘1-1-1 TEL: 096-373-5283 FAX: 096-362-7510 Email: fapmeeting2011@gmail.com URL: http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/diagnostic/index.htm
-----------	---

<http://www2.convention.co.jp/fapmeeting2011/index.html>